

Dow Corning Toray SE936 シーラント

Dow Corning Toray SE936 シーラントは高モジュラス・脱アルコールタイプの自己接着性に優れた2成分形シリコンシーリング材です。

■特長

- 広範囲の被着材に対し、プライマーなしで良好な接着性を示します。
- アルコールタイプのため、腐食性の心配がありません。
- 非常に速い硬化性を示します。また、2成分形のため、硬化は常温で表面、深部とも均一に進行します。
- シリコンシーリング材の特長である優れた耐候性、耐熱性、耐寒性はもちろんそのまま保持しています。

■用途

- 複層ガラス用接着剤(二次シール材としてご使用ください)

■代表特性 (出荷規格ではありません)

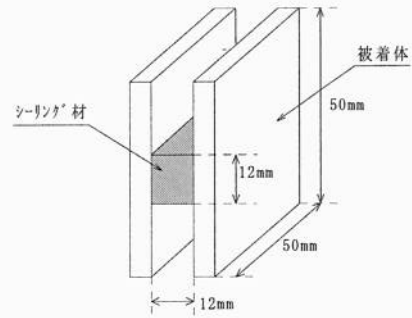
項目	特性値		試験方法
(硬化前)	<基剤>	<硬化剤>	
外観	ペースト状	ペースト状	
色	白	黒	
混合比(重量比)	13	: 1	
密度	1.50	1.03	
可使時間(25℃) 分 (スナップタイム)	95		
(硬化後:25℃×3日)			
色	黒		
密度	1.49		JIS K 6249
硬さ	60		JIS K 6249

■引張接着強さおよび耐久性

- 被着材：JIS R3202 フロートガラス
50×50×5^t mm
- プライマー：プライマーなし
- 試験体 JISA 5758 H型試験体
- 養生および劣化条件

標準養生：23℃・7日+50℃・7日

温水浸漬：初期+80℃温水・14日



養生 劣化条件	M10 N/mm ²	Tmax N/mm ²	E _{max} %	E _{br} %	CF %
標準養生	0.55	1.14	29	34	100
温水浸漬	0.38	0.79	32	52	100

M10：10%伸長時の応力

T_{max}：最大引張応力

E_{max}：最大応力時の伸び

E_{br}：破断時の伸び

CF：シーリング材の凝集破壊

■使用方法

基剤と硬化剤を規定の混合比で均一に混合して下さい。混合中に空気を抱き込むと、硬化後所定の物性が得られないことがあります。

■使用上の注意事項

- ① 施工前に必ず実際の被着体と同材料を使い接着性をご確認ください。
- ② 被着材が清浄かつ乾燥した状態でシーリング材を施工して下さい。
- ③ 打設してから一日以内に雨掛かりすると表面荒れ、硬化不良の原因となりますので、雨水のかからないように養生して下さい。
- ④ 打設後しばらくの間は、シーリング材内部は半硬化状態となりますから、目地には大きな動きを与えないでください。(硬化中に目地に大きな動きが加わると表面のシワや内部クラック等の欠陥が生じます。)
- ⑤ 石目地、スレート目地等の外観目地に使用した場合、目地周辺に汚染を生じさせることがあります。美観を重視される場合は事前に当社へご相談ください。
- ⑥ バックアップ材・防水シート等にEPT(EPDM)、クロロプレン系のゴムを使用される場合には、接触によりシーリング材が変質(変色、接着不良、軟化)することがありますのでご注意ください。事前確認をお勧めします。

